

# Next Step

No.16

平成28年7月11日  
県事研研究部

こんにちは。県事研研究部です。

今年度の Next Step は、学校事務グランドデザイン「つぐみ」実行策シート（試行版）を活用した会員の実践事例をお届けします。今回は、春季学校事務研究会の全体研修で発表していただいた2つの事例について、もう1度紹介をさせていただきます。

## ◆◆◆ 発表 1 ◆◆◆

28年度 取り組んでみよう ～会員のための実行策シート(試行版)～		
経営	◆事務経営案・事務部評価の実践と定着により、安定した質の高い学校事務を提供 ◆校務のシステム化研究を進めて事務機能を向上させ、学校経営の中核的役割を ◆各種マネジメントの展開を図り、各校の教育目標達成へ向けた学校事務を推進す	
	取組	【校内】 学校教育目標実現に向け、効果的な教育支援をめざす 【校外・地域連携】 「信頼ある学校づくり」および「地域とともにある学校づくり」を推進する
レベル2 (できる)	学校経営への参画を意識した学校事務を推進する たとえば・・・ □教育活動に積極的に関わり、授業や学習活動がどのよ □学校事務(部)経営案を作成し、事務機能の向上を図る	自校の学校事務の課題を整理し、校内のシステムを整え、事務機能を強化する たとえば・・・ □外部講師の依頼手順をマニュアル化する □教職員が必要とする情報等をすみやかに提供できる体制づくりを行う
レベル3 (進める)	教育目標実現に向けた取組を教職員と共に提案する たとえば・・・ □教職員と協働して、校内の諸問題について改善策を協 □教頭と業務の連携・分担の見直しを行い、支援体制を強化する	学校と保護者、地域を結ぶネットワークづくりを推進する たとえば・・・ □地域の人材リストの作成及び維持管理を行う □教職員向けの接遇、外部対応について校内研修を行う

「地域の先生への講師依頼や連絡が  
簡単に行えるようにしたい」

□経営シート 右側【校外・地域連携】  
レベル2 & 3を参考に

地域の先生リストを作成し、誰でも講師依頼とリストの更新ができるようにする。

28年度 取り組んでみよう ～会員のための実行策シート(試行版)～		
財務	◆安全安心な学校生活を送ることができるよう、学習環境整備の充実に努める ◆教育活動を財務的に裏付けし、カリキュラムと結びつけ、教育目標の実現を ◆財務の統括者として、保護者や地域からの信頼を得られる学校財務を展開	
	取組	【学習環境整備】 教材・教具の整備および施設設備の維持管理を図り、学習環境を充実させる 【財政支援】 学校教育目標の実現や教育活動の活性化に向け、校内総予算を有効に活用する
レベル2 (できる)	備品や施設整備について、有効活用や情報共有ができる体制をつくる たとえば・・・ □職員全員での備品点検を実施し、台帳を整備する □職員会議で施設設備の修繕状況を報告する	保護者の負担軽減を念頭に置き、計画的で適正な予算執行をする たとえば・・・ □年間の教育活動に係る経費を理解し、計画的で無駄のない予算執行をする □保護者負担軽減に向け、学校集金の内訳を確認し、公費・私費の基準を明らかにする
レベル3 (進める)	校内予算委員会を機能させ、自校の教育活動に結びついた物品選定や予算執行を行う たとえば・・・ □備品の点検結果や使用時期、単元、教科主任の意見など物品選定や予算選定に向け、予算の有効活用を管理職等と協議する	情報を収集し、低いコストで高い教育効果をあげる工夫を提案する たとえば・・・ □地域人材や施設の情報を収集し、活用の提案をする □教材や教具の用途や機能について比較・研究し、効果的な物品選定に活かす

「行事ごとの予算配分と科目を明らかにし  
使える金額と業者名を明示したい」

□財務シート 右側【財政支援】  
レベル2を参考に

引継書として利用できる  
よう、学校行事の予算一覧  
を作成する。

◆◆◆ 発表 2 (共同実施を活用した取組) ◆◆◆

28年度 取り組んでみよう ～会員のための実行策シート(試行版)

▼子区連自組織の円滑な連携を図り、取組員の協働を促進し、子区事務の組織化を進め、  
▼取組員が「取組員」の役割を担い、取組員が「取組員」の役割を担い、取組員が「取組員」の役割を担い、  
▼共同実施の活用を図り、取組員が「取組員」の役割を担い、取組員が「取組員」の役割を担い、

組織	【校内】 学校経営スタッフとして教育活動を支援する体制を整備する	【校外】 近隣の学校や外部機関、保護者や地域と、連携・協働し教育や地域づくりを推進する
レベル4 (広げる)	「チーム学校」の一員として関係機関と連携した校内組織を整備する たとえば・・・ □ 事務部門を統括し、「チーム学校」のマネジメントを行う □ 学校組織の今後を見据え、事務職員の立場(位置)を確立する	組織活動の活性化に向けた条件整備を進める たとえば・・・ □ さまざまな職種の人に学校の評価してもらい、地域の学校としての在り方の改善を図る □ 行政機関と連携し、学校と地域でまちづくりプランを作成する
レベル5 (創造する)	学校組織の改革に関わる たとえば・・・ □ 評価を活用し適正で効率的な体制づくりを推進する □ 組織の事務部統括者の立場から、学校経営方針(スモールプラン)に提言する	県・地教委等と連携し、総合的な人材育成に向けた組織作りを展開する たとえば・・・ □ あらゆる関係機関を活用し、有能な事務職員の育成のための組織作りを行う □ 地域に根ざした子どもの育成のための組織作りを進める

関係機関と連携し条件整備を推進する

□組織シート 【校内】 【校外】  
レベル4を参考に

坂井市教育委員会と連携し連絡先一覧表の作成

坂井市内学校施設 緊急時連絡先一覧表 (施設担当者保管用)

対象施設	警備			電気保守			消防設備			EV		
	TEL	社名	TEL	社名	TEL	備考	社名	TEL	備考	社名	TEL	備考
平島	66-0059						三浦エスピー	92-3919	2階階梯付			
高井	66-0022						三浦エスピー	92-3919	2階階梯付			
高井	66-0025			79-4764	2階階梯付		三浦エスピー	92-3919	2階階梯付			
高井	66-0276			30-0526			三浦エスピー	92-3919	2階階梯付			
高井	66-0079						三浦エスピー	92-3919	2階階梯付			
高井	67-3624						三浦エスピー	92-3919	2階階梯付			
丸岡	66-1919			92-0526			三浦エスピー	92-3919	2階階梯付	緊急時連絡先	079-222-9111	
丸岡	67-7722			27-0000			三浦エスピー	92-3919	2階階梯付	緊急時連絡先	079-222-9111	

  

対象施設	コンピュータ保守			給食リフト			ブルドックエレベーター		
	TEL	社名	TEL	社名	TEL	備考	社名	TEL	備考
平島	66-0059								
高井	66-0022			20-2001			三浦エスピー	92-3919	
高井	66-0025			チャイムサービス	92-1489		三浦エスピー	92-3919	
高井	66-0276			システム保守	28-0119		三浦エスピー	92-3919	
高井	66-0079						三浦エスピー	92-3919	
高井	67-3624						三浦エスピー	92-3919	

28年度 取り組んでみよう ～会員のための実行策シート(試行版)

◆学校情報を統括することで、教育の質の向上に寄与し、保護者や地域に説明責任を果たす  
◆校務の情報化で業務の軽減と効率化を進め、教員の子ども向き合う時間の確保に繋げる  
◆ICTの活用で、より効率的で効果的な学校事務を展開し、教育活動の円滑な実施に携わる

情報	【管理】 情報管理の適正化を図り、校務の効率化を推進する	【活用】 効果的な情報の収集・発信を推進し、学校運営や教育活動の活性化をめざす
レベル5 (創造する)	市町の学校の情報管理体制を見直し、規程整備等を提案する たとえば・・・ □ 市町教委と協働して規程を整備する □ 市町教委、関係機関と連携し、市町全体のネットワークやシステムを改善する	市町の学校の情報を活用し、発信する体制づくりを企画運営する たとえば・・・ □ 地域・学校協議会へ出席する。 □ 市町全体の教育関係機関において、情報を共有できる体制をつくる
わたしの取組		
よかったこと 成果		
来年度がんばろうと思うこと		

学校関係者が誰でも活用できる  
施設マニュアルの作成

□情報シート 【管理】 【活用】  
レベル5を参考に

各管理業者と連携した施設マニュアルの作成



実行策シート (試行版) のアンケートについて

会員一人一人がわたしたちのめざす姿に近づくためのツール (道具) として現在作成中の「つぐみ」を、より一層みなさまの身近で活用しやすい物になるように更新をしています。ご協力をいただきありがとうございます。

